

# 自転車のない学校



というわけで(昨日からの続きで)、神町中学校に、今日は1台の自転車も止まっています。自転車通学ができなくなった神中生は、このことをどうとらえているのだろうか?

毎朝、自転車に乗って登校し元気な挨拶をしてくれる結城彩天奈さん(1年)は、「1人の行動が、多くの人に迷惑をかけてしまう。責任をもって行動することが大切だと思った。」と、ダイナム付近から歩いてきたという加藤美桜さん(1年)は「遠くて歩いてくるのが大変です。友達との待ち合わせ時間を、いつもより早めて学校に来ました。」と話してくれた。佐々木颯太くん(2年)は、『自転車通学禁止と発表され体育館がざわついたのは、「合唱練習で早く来なければならぬのにどうしよう」という困った気持ちや、「ちゃんと名乗り出て欲しい」という怒りのような気持ちがあったのだと思う。自分の行動に責任を持てる神中生になるべきだ。』と話してくれた。3年生の羽柴蓮くんは、「1人1人の行動が、学校をつくっていくのだと思う。自分の行動に責任を持てるようにしたい。」と話していた。安全委員長の武田栞歩さん(3年)は、「みんな、時間を意識して学校に来るのが早くなったような気がします。自転車で地域に迷惑をかける人もいなくなり、いいと思います。」と、ブラック・ムネティのような話をしてくれた。「自転車通学は、ずっと無いほうがいいと思っっているのですか?」と聞くと、「そうではありません。家が遠い人もいますので、自転車通学は必要だと思います。ただ、現状を知ってもらうには、よい機会だと思います。来週からはルールを守り、地域の方に迷惑をかけることのないようにしてもらいたいと思います。」と、胸の内を語ってくれた。

## 新型コロナ感染防止 読者メッセージ

10月10日  
山形新聞より

神町中学校生徒会役員有志  
医療従事者のみなさん、コロナ対策のため、お仕事頑張ってください、大変ありがとうございます。おかげで神町中学校では、運動会や研修旅行などの行事を無事に行うことができました。実施できたことへの感謝の気持ちを忘れず生活していきたいです。  
生徒会活動では、医療従事者の方々への感謝の気持ちを暑中見舞いなどでお伝えする活動を行ってきました。医療従事者のみなさん、これからも体に気を付けてお仕事頑張ってください。

